

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
1	四天	真本	360	「前の章でも記述したとおり」を積極的に言わなくていいと思います。「前にして」のあのプレスは要らないのでは？「しよう」とが自然だと思います。文末以外の切れ目で最低音まで下がらないように注意。「あなたは遠足が」ではないと思います。「しぼられて」は中高。「という」が高すぎ強すぎ。 課題。「俺…なんです」を、そこまで遠慮がちにしないでいいと思います。	声のコントロールは上手くできている一方、もう少し幅があった方がよい。そんなに暗い声で表現する場面？もう少し落語のようなオチを期待できる語り口で。落ち着いていた。読み癖残る。意味がつかないところで切りすぎの感あり。情景が浮かばなくなる。「である」が不自然。文末処理甘い。先生のセリフの表情。イントネーションに工夫要。「日記には」の「には」の読みが、怖い話が始まる感じがした。「ぎょっとした」の読み方、それでいいですか？	切る所の音が切れている。妻の言葉、それでいい？その声でよいか？登場人物の声の表情。納得いかない。
2	相愛	平	入選	「さくら」の「さ」「ももこ」の「も」だけを高く。「しており」のアクセントは要りません。音域を広く使って、伸び伸びと話せています。「あとのこり…」は続けたほうがいいと思います。「全て」の「す」だけ高く。「たこぎり」の鼻濁音は無くてもいいと思います。「うまい具合に」で一つの言葉。「着々と世の中は」ではないと思います。 課題。「映像使用」から急に積極的になりました。	ポーズのとおり方うまい。明るい聞き取りやすい声。(マイクに乗っていない?)。シニカルな雰囲気、よく出ている。「こみあう」の「こ」の音、聞きにくい。「天が」の「お」消えている。息が前に飛んでいないところあり。特に言葉の1音目の音がこもるのが気になった。明るい声。「おり」のイントネーションの付け方に工夫要。フレーズにもっと注意を。ナンバーコール、良い。時々、声が上がってきこえます。わかりやすい。	お冠な雰囲気、もう少し欲しい。奥さんのセリフにもう工夫を。自然に読めている。
3	桃山学院	元岡	374	3番のアクセントは平板が望ましい。「後先」は頭高だと思います。「のぞかせた」は平板では？「気を付けて行ってらっしゃい」は、そんなに高い声で言うかな？「彼は…おいた」という地の文まで落胆してしまいました。女を高く、男を低くという決め方をしないほうが、うまくいくと思います。 課題。「ただ…」と迷った感じになってますが、わざとかな？お冠の人は、そんなに高く大きな声を出すかな？	声の使い方、音の出し方に幅があってよい。うねりが気になる。もう少し、場面の間を工夫して。浩三のセリフ、もう少し。3番アクセント。間の取り方や声質、単調に思えたので、もっと工夫すると良くなる。「言うべき言葉」のアクセント。齋江の言葉の表情。場面はよくわかる。最初の部分、地の文からシリアスになっています。	スギちゃんのセリフ、それでいいか？「ただ」の表情。前半、自然でした。
4	府堺西	田井	353	番号がくたびれて聞こえました。「私の」が低くて「父」だけ高いのは違和感があります。「小学3年生」の「く」は無声化。他にも、無声化の見逃しがありました。「うのみに」の前のプレスは要らないのでは？「作って帰ってくれ」「作って」だけ丁寧に言えばいいと思います。「さえ」とか「ものを」のアクセントが邪魔です。 課題。「タレントだと気づいていなくてすいません」と言っているように聞こえました。	読むスピードが単調なので、のっぺりとした読みに聞こえる。場面の雰囲気を感じと表現しよう。長い文の扱い注意。同じ調子。情景が浮かぶようにリスナーに伝えよう。もう少し声にハリを。「～と言う」の処理。たたみかける表現。最後の文の伝え方。高低差小さい。大事なところが立っていません。長い文が平たい読み方になっています。	地の文のとセリフを区別しよう。「～と断った」までがスギちゃんのセリフ。二重カギかっこの中がわかりにくい。テンポが同じ。
5	いちりつ	陳	377	「窮地」に聞こえました。「そろそろ」に違和感があります。「隔たりが」のあのプレスは無くてもいいと思います。「首筋を」が低くて「かすめて」が高いのはおかしいです。「そいつ奥歯に」に聞こえます。「口から」の「くち」を両方無声化。「見た」のアクセントは無くてもいいと思います。「その姿は」のあとがプレスだと思います。 課題。「ただ…すいません」までつながったせりふのように聞こえました。「お冠」の「お」が不鮮明。最後の文を冷静に読んだのは良かった。	セリフのト書きの区分けが上手い。自然な話し言葉の息で表現しよう。場面を描くために音の高低やスピードを工夫しよう。スピード、速く感じ、情景浮かびにくい。セリフ、工夫しているが、もっとやって良い。トメさんのイメージがもうひとつ明確にならない。地の文は、もっと落ち着かせたい。ナンバーコール、タイトルコール、良い。「老婆は」が「老婆ア」に聞こえました。滑舌、曖昧。	地の文、もっとしっかり。声の表情、良い。「断った」までがセリフ。妻の2つ目のセリフ、工夫の余地あり。わかりやすい。
6	府西成	田中	352	番号や作品名、もうちょっと、霸気がほしいです。「合わせて」の「せ」など、発音が雑になったままでした。「マラソンとは…気がする」など、一息で気軽に言えるような箇所に、ポーズやプレスが入っています。「向かって」で息を吐きだしてしまいました。自然なイントネーションを身につけましょう。 課題。そんなにじらす必要はないと思います。「映れるのに」のあのポーズが長すぎ。	意味の塊の途中で不用意に上がる癖が散見される。声の雰囲気と場面が合っていない。この場面、理解していますか？うねりや区切る所がおかしいところがあり、気になります。声が小さく暗い。リズム悪い。声の表情、それでいいか。リスナーに伝えるように発声するとよくなる。読みがうねっている。もう少し元氣よく。文末処理に注意を。この部分の山場は？タイトルコール、もっとしっかり。ささやいているように感じます。マラソンの苦しさが伝わっていませんでした。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか？スギちゃんのセリフの表情、×。スギちゃんの話し方、良かったです。
7	関西創価	安田	313	番号がちよっと頼りない。「2時だというのに」とか、なんでもないような箇所に何か厚塗りされています。放送部のアナウンサーとして朗読しているので、全部が厚塗りだと、あなたの普段の伝達力を評価するのが難しいです。「タクシーがー」と伸ばすのはどうしてかな？「ひとよぎしませんか」になってしまいました。せりふの表現は、面白い部分もありました。 課題。「ただ…いなくて」は良かったけど、そのあとの「すいません…」をさらに演出する必要は無かったと思います。妻はそんなに劇的に話すの？ギャツビーを引きずったかな？	セリフはなかなか上手い。だからこそ、それ以外の所はもう少し、話を読んでもいいのでは？冒頭の場面の表現、それでいいですか？演出過剰です。ギャツビーってどんな人物ですか？情景、伝わる。息がつかまような発声で、切れ切れに聞こえる。後半のセリフ、工夫しているが、自然さがもう少し出ればよい。声を低くして始めるのは×。苦しうに聞こえる。ここを選んだ理由は？ギャツビーの表情、見えない。地の文、客観的に読みましょう。大事なところを立てましょう。	セリフと地の文の差が見えない。スギちゃんのセリフ、『』が残念。理解して読んでいる。スギちゃんのセリフは良いが、地の文、妻のセリフは×。スギちゃんのセリフ、上手です。

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
8	相愛	山本	2位	「ことなのよ」など、語尾がセクシーになりすぎの箇所があります。こうぞうは、寝転がってしゃべるとしたら、そんなにいい声ではないと思います。「そうかもしれないけど」のあとに、しっかりプレスがあるほうが、なぜ楽しいのかを表現しやすいと思います。「この人は」を、裏返してまで高くしないでいいと思います。「いうより」を丁寧にするのは違和感があります。 課題。お冠の女性は裏声でしゃべるのかな？	声の出し方に幅があって良い。落ち着いた読み。セリフのやりとり、良い。やや浮ついた音が気になる。地の文とセリフ、不鮮明。場面、よくわかる。スピードコントロール工夫している。齋江のイメージはつかめていると思う。地の文を地の文らしくしよう。タイトルコール、良い。地の文と会話文との境目がわからなかった。	セリフと地の文の表現分けができています。「断った」をもっと強く。場面、伝わりました。
9	アサ国	杉村	379	「と思うが」など、語尾が伸びている箇所があります。「…都合で」のあとにポーズがあったほうが分かりやすいと思います。「…という実感」は続けたい。「ゆった」に聞こえます。「見えなくなるまで」の言い方が不自然です。「死別に」が低いのはおかしいです。このように、イントネーションに関する違和感があちこちあって、集中できませんでした。 課題。「すいません」からの言葉を演出しすぎだと思います。お冠とヒステリーは違います。	リズムはあって良かった。情報をもう少し丁寧に伝えてほしい。場面の転換、もっと間の工夫を。情景浮かぶ。読んでいる。うねる感じ残り。声の表情は悪くないが、テンポの付け方には工夫がほしい。地の文に情が乗らない方がいい。最初の1・2文の立て方、それでいいですか？「～かどうかも」などの助詞は立てないように。	スギちゃんのセリフ、それでいい？スギちゃん、作りすぎ。第一文、良くない。奥様の表情、やや疑問。妻がヒステリックに聞こえます。
10	四天	田伏	366	番号の部分、息と声がかまくら動かしませんでした。「転んだのである」の「ある」が力みすぎ。このシーン、ももこは何歳？適切なせりふになってる？「はじめだけ…かもしれないけど」でひと塊だと思えます。「あろう」を立て直すのは違和感があります。「うちの姉は」が低いのはおかしい。 課題。冒頭のセリフは、残念そうにしないでいいと思います。	リズムよく読んでいたと思います。コミカルな雰囲気を出そうと工夫している。ももこのセリフはそれでいいですか？読んでいる。前半場面が出るより字が出てくる。セリフ、工夫できている。後半よかった。「である」が強い。ももこのセリフの表情。もっと淡々とした方がいい。終わり方、疑問。母音と子音が引っ付いています。ラストの読み方に工夫が必要です。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか？「断った」の表情。
11	夕陽丘学	寺川	欠席			
12	いちりつ	道家	372	私のが「し」がsilになってます。「鏡台の下に」が低くて「落ちていた」だけ高いのは違和感があります。「見つかるとは」のあとではなく、「考えてみたが」のあとが切れ目だと思えます。高音（時々裏返し）に頼りすぎて、少し耳障りになってしまいました。表情豊かで面白い語りだったけどね。 課題。「なーんで！」から、謎の美少女キャラ登場でした。	何をさがしていたか？指輪が聞こえない。もう少し音の幅を広げて表現してほしい。深刻な話になってしまった。波のようなうねりで読んでいる場面あり。演劇調。意味をとらえながら場面を伝える意識で。一人称文は地の文と同じ扱いをした方がいい。ところどころ速い。セリフ上手。ラストの雰囲気、よい。	課題は上手くメリハリをつけて読んでいたと思います。スギちゃんのセリフ、そんなに暗い？お冠の奥様のセリフは上手。「ただ」の入り方。「なんで」の高さ。間の取り方にもう工夫ほしい。
13	大阪国際	小野松	357	「のぼり」ですよ。「そうだ」は、そこまでハイテンションではないと思うよ。地の文が、放送部アナウンサーの朗読としては評価しにくい読み方です。「柿の包み」の「かきの」だけを低くするのはおかしいです。自然なイントネーションが身に着いていません。放送部の大会に出ているのだから、ニュース読みやお知らせの読み方なども勉強してください。 課題。この夫婦は、かなりハイテンションでしゃべってるのかな？妻は関西人なのか？	セリフの読み方がとても上手い。セリフ演出過剰。地の文の情報をしっかり伝えて。おかみさん、どんなキャラクター？セリフ、上手。滑舌、地の文をしっかりと読めるように練習しよう。セリフは表情豊かだが、地の文は聞き取れない語句がある。しぐい柿のアクセント。「きうち のぼり」です。地の文をもっと丁寧に読むと、セリフの上手さが引き立ちます。	スギちゃんのセリフ、良い。奥さん、なぜ関西弁？奥様の言葉、大阪弁のイントネーション？「断った」のアクセント。スギちゃん夫婦は関西人？スギちゃんの奥さん、大阪弁ですか？奥さんは北海道の人だと思います。スギちゃんは愛知県の人だと思います。
14	相愛	浜本	379	作者名のあとのポーズが長すぎでした。「若い男女」の「男女」だけ高いのは違和感があります。「あれはどこに…」は、もっとつばやくように言いたかったですね。「みかん畑」は「かんば」が同じ高さです。放送部のアナウンサーとしての技術が身に着いているのかどうか、判断が難しかったです。 課題。「すぎちゃんなんですって断った」と続けていいと思います。「なんで」は語尾が上がらなくてもいいと思います。	他のひとより少しゆっくりとした語り口だが、それがよく合っています。うねりが気になる。場面が伝わってこない。場面の切り取り、工夫を。前半、読んでいる。後半良くなっていく。スピードコントロール、もっとやった方がいい。もう少し、声にハリがほしい。二人の姿が消えていたということの読み方に違和感がありました。	地の文、もっと歯切れよく。『 』より「 」が大事。自然な感じでした。

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
15	プール	中谷	366	「開始からー」と伸びてしまいました。吹かれに注意。「多いほうだ」が雑でした。「してしまう」など、ほかに滑舌が追いつかない箇所がありました。「まだ…という」までひと塊だと思えます。「すごく楽しい」の「く」は無声化。吹かれに注意。「ウルトラ…のように思える」でひと塊だと思えます。 課題。「じつは俺」の部分を、本物のせりふのように再現しなくていいと思いません。	素質はあると思いますが、まだ、文脈の読み、把握が必要ですね。これからですね。意味を考えて、音の高低やスピードで工夫して。普段話している日本語の息で表現しましょう。情景伝わる。読んでいます。意味の塊を意識して場面を伝えるとよくなる。後半良くなった。うねり出てきた。フレージングの作り方、よくない。一人称文は、地の文と同じ扱いを。坦々としている方が面白い。係り受け、気になりました。前半部分では、立てている箇所が気になりました。	地の文とセリフの切り替えがうまくいっていない。「断った」大事。スギちゃんのセリフ、自然でした。
16	府堺西	伊丹	370	「のらや」のアクセントに違和感があります。「寝床を」が低くて「作って」が高いのはおかしいです。「昨日今日あたりが」よりも「花盛り」を丁寧に伝えたいです。吹かれに注意。「いちいち…しらせる」までひと塊。「私がんまり」に聞こえます。吹かれに注意。 課題。冒頭はうまくいきました。「なんで」の語尾は上げなくてもいいと思いません。	淡々と読むスタイル。合っている。『ノラや』のアクセント。やや単調な読み。うねり読み。イントネーション。意味を考えながら、作者の語りたことに忠実に表現を工夫するとよい。もう少し、テンポが遅くていい。ここを選んだ理由は？作家の思いが伝わらない。場面が目に浮かびました。ラストの一文の読みに工夫がほしいです。	淡々と読むスタイルは、フリーの方は合っているが、セリフの多い課題は少し物足りなくなる。奥さんのセリフ、それでいい？「」がセリフ。妻が冷たいように感じました。
17	府天王寺	金山	375	著かな？ 吹かれに注意。マイクに頼りすぎ。放送部のアナウンサーとして大会に出ているのだから、もうちょっと地声の威力を高めてください。「ずっと」から急に雰囲気が変わって驚きました。「こまめは…動かなかった」など、地の文があまりにも別の声なので、一貫性が持てなかったと思えます。せりふにしか興味が無いのかなあ…と思いつながりました。 課題。お冠の女は裏声でしゃべるかな？	語りの緩急のつけ方は上手です。セリフの使い方が上手い。マイクが近すぎて、マウスノイズが入っている。声をもっと前に出している。手紙の演出過剰。セリフ上手だが、関係、よくわからない。地の文の表情、それで良いか。表現工夫しようとしている。セリフ表現、オーバーな感あり。地の文をしっかりと響かせよう。古着の中から出てきた手紙を読むことが文章全体にどうつながるか。タイトルコール、良い。地の文をもう少し客観的に読んだ方が、会話文が引き立ちます。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか？「断った」までが対象です。セリフ、上手です。
18	四天	榎本	365	18の発音が、やや横開き。「くじけて」は文末ではないので、最低音までは下がれない。本文に入っても母音の横開きが気になる状態が続きました。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「ずっと」の「ず」は無声化、アクセントは平板。「なる」のアクセントは要りません。 課題。最初の文は、そんなに落胆した感じに思っています。「すのために」になってしまいました。	発言やアクセントは問題ないが、ももこの心情をもう少し深く読み込んでほしい。この場面をそんなに暗い読み方をしなければいけないですか？聞き取りやすい発声。場面転換、もっと工夫を。淡々としている。ヘッドボイスしなく。声の表情が真面目過ぎる感あり。本文のセリフの表情が違う。文末処理、もっとしっかり。一人称文は地の文のように。わかりやすいが単調。ラストの一文の読みに工夫がほしい。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか？「ただ～断った」がセリフ。奥さんのセリフにも軽重を。妻が少し冷たい。
19	アサ国	井上	入選	「開始から」のあとのプレスは要らないと思えます。「日常生活を」が低くて「普通に」から高いのはおかしいです。「友人に」のあとのポーズが長すぎると思えます。「まだ…なのにもう…という」でひと塊だと思えます。音域を広く使って上手に読んでいる部分もありました。 課題。お冠の奥様は高くて強くて怖い声でしゃべるのかな？	ト書き部分で少しうねって読む癖がある。意味を考えてカタマリを工夫しよう。切る場所がおかしいです。自然な話し言葉の息で。声のトーン、明るい。地の文の文末まで同じスピードなのをコントロールできれば良くなる。セリフ自然。後半、読みがうねり出ている。声はよく通る。自分のセリフに工夫の余地あり。終わり方唐突。わかりやすく、聞きやすい。友達セリフ、自然でした。	地の文うねり。「断った」を大事に。ダ行断つ。妻、冷たい印象。
20	相愛	辻本	1位	「ばん」「わ」などが横開きでした。「しての動きに」をもっと高く入りたかった。「ひだりだなり」になってしまいました。臨場感を出せています。「体つきも」のあとのプレスが邪魔でした。「体からは物語が」でしょうか？ 課題。「せっかくテレビに」と続けるなら、「く」は無声化。	読む人の声の質と作品がうまくマッチしています。選択の妙味です。情報が多い場面。冒頭、もう少し丁寧に。浩三の緊迫感、良い。情景、伝わる。世界に引き込まれていった。本ではなく、自分が打った原稿にする方がよい。メリハリ、もっとつけた工夫を表に出すともっとよい。声、よく通る。浩三の名前を大切に。最後の一文の扱い。タイトルコール、きれいでした。	丁寧に表現できている。スギちゃんのセリフ、よくわかる。最初の「」ももっと大切に。妻が上から目線の女性に感じた。
21	箕面自由	矢森	入選	よく響く声ですね。タイトル部分だけが、こもった音になってしまいました。「手を伸ばせば届くほど近い」は慣用句ですが、ちょっとなじんでいないと思えます。「頼りなさだけが」のように、低音から入った箇所が、全体としてうまくいかなかったと思えます。「いやだよ」で停めないほうがよかったのでは？ 課題。「そのために…」は、そんなに激して言ったのかな？	ト書きとセリフでもう少しメリハリがつくと、持ち味のいい声質が生きてくる。音の輪郭がはっきりしない。(マスクのせい?) 地の文でもっと場面をしっかりと描いて、自然な話し言葉の息で。「へたり」聞こえない。表現工夫しようとしている。意味を考えて地の文を読む。うねり、残っている。スピードに変化をつけたり、間を変えるなど、表現の工夫をすともっと良い。少し聞き取りにくい部分がある。世阿弥の言葉は切らない。「いやだよ」の表情。高低差、もっと大きく使しましょう。母音と子音と引っ付いているところがあります。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか？課題文、良い。「断った」が大事。2つ目の奥さんのセリフの読み方。単調に聞こえました。

第69回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

審査順	学校名	名前	得点/500	安田先生講評	原稿講評	課題講評
22	府槻の木	宮崎	6位	「こちらのゆっている」と聞こえましたよ?? 最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「その場所へ先回りし」を極端に低くする理由が分かりませんでした。妻は、そんなに必死に猫に懇願するかな?「取ってもらって」の「もらって」を丁寧に扱う理由が分かりません。全体としては、低めのハスキーボイスを堂々と生かして、良い語りだと思います。 課題。「断った」はつづれないほうが良いと思います。「ために」だけを丁寧に扱うのは違和感があります。低音をうまく使えば、さらに面白くなりそうです。	少し語りが速いかな。でもリズムはあるので、スピードはそのまま、センテンスの間のポーズをもう少しとっていいかも。気持ちよく読んでいるが、聞き手に情報を届けていない。こちらが場面を思い浮かべられる間がほしい。少し早口。早口に聞こえる。猫のしくさは、よくわかった。ここを選んだのはなぜ?ナンバーコールきれいです。全体、もう少しゆっくり読んでもいいのでは?緩急をつけた方がいいと思います。いい場面です。	スギちゃんの奥さんのセリフ、それでいいですか?OK。間の使い方、いいと思います。
23	いちりつ	濱田	4位	抽出開始の場所が、ちょっと不親切だと思います。ひろしのことだと分かるのに時間がかかる。「とといった感じ」など、ちょっと雑な箇所があります。「父」の最初の「ち」は無声化。「もんのすげーなー」を物まねにしなくていいと思います。「2階に…見えた」でひと塊です。 課題。妻はそんなに大声で言ったかなあ…。最後の文はうまく冷静に戻れたと思います。	テンポがあって良かったです。「彼」が誰かがきになる。場面抽出を工夫しよう。丁寧に表現しようとしている。「巴川」聞き取りにくい。各文、同じ山で行くのが不自然に感じるところあり。自然なイントネーション。暗誦の途中、波のようにつながるところあり。ここを選んだ理由は?タイトルコール、よい。間の使い方、よい。ラストの一文の読み方に工夫を。	セリフと地の文の違い、良い。スギちゃんのセリフ、わかっている。課題文の世界、じっくりしました。「断った」を大事に。妻、冷たく感じました。
24	桃山学院	吉村	入選	本分と比べて、タイトル部分が低く色っぽくなってしまいました。「なお」のあとのポーズは無くてもいいと思います。文末が高止まりになっている箇所があります。1文の中に複数のポーズやプレスを入れる場合、その長さには違いが出るのが普通です。「永久に」だけ極端に低いのはおかしいです。 課題。「そのために…」は、そんなに決然と言ったかな?	落ち着いた語り口だったと思います。タイトルからうねりがある。場面抽出、わかりにくい。イントネーション、自然な話し言葉の息で表現しよう。関係が伝わらない。単語に聞こえる。変化の工夫をすると良い。深みのある良い声。ここを選んだ理由は?読み方は、まずまず。「はかない呼吸」の読み方、気になりました。意味の塊で読みましょう。	奥さんのセリフ、良い。「とあるできごと」のイントネーション。
25	相愛	林	3位	「いうことは」のアクセントは要らないと思います。音域を自由に広く使って、伸び伸びと語ることができていると思います。「あきれた」がややつぶれた。友人は、どのくらい上から視線で言ったかな?「この事実」のアクセントが不鮮明。 課題。お冠の妻は、ハイテンションなの?	この作品の作者の心情をもう少し読解して語ってほしい。息が抜けた発声になっている部分がある。自然な息遣いで読む。友達のセリフ、良い。場面を表現する工夫をしている。リスナーに伝えようとしている。情景、しっかり浮かぶ。ももこの一人称は地の文のように。ももこのセリフ、友人のセリフ上手。わかりやすい。ラストの一文、読み方に工夫を。	丁寧に表現している。地の文とセリフとの差、良い。良い声。「断った」までがセリフ。う行注意。
26	四天	谷田	373	「作」の前の長いポーズは違和感があります。「弟」は平板ではなく尾高。文末の下がり方と終わり方に違和感があります。放送部アナウンサーとしての経験、ニュースやお知らせの読み方なども勉強してください。「ずーっと」から別人になってしまいました。血のつながった兄弟は、どんなふうに話すかな? 課題。「すいません…なんです」を本物のセリフのように演出するのは違和感があります。妻のせりふ、吹き替え声優のように聞こえました。	セリフはこのままでいいが、それ以外はもう少し抑え気味でよいのでは?イントネーションやアクセントが不自然なところがある。「うっとり」「ずっと」自然な話し方で。表現過剰です。桜の海が広がっている様子が伝わってきた。表現工夫しようとしている。声はよく通る。地の文に表情つけ過ぎ。ここを選んだ理由は?「月に照らされた～繋がっている」の文の読み方に違和感がありました。	スギちゃんのセリフ、それでいいですか?ラストの一文、違和感がありました。
27	府堺西	三崎	5位	文末だけ発音が横開きになるのが残念。「不思議に」の「ふ」は無声化。他にも無声化の見逃しがあります。「突然…なった」あたりから、朗読というより、芝居のモノローグのように感じました。「本当に転ぶ」ですか?「ぐるぐる」の「う」の母音が子供っぽくなりました。 課題。2文目からが地の文なんだけど、1文目と一体化してしまいました。	間の取り方は、とても上手いです。あとリズムがあつてよかった。音の輪郭がくっきりしている。場面の表現をよく工夫している。中ほど、ずり上がりで読んでいるところがあり、自然さが遠ざかる。声の息の量を変化させると、もっと表現の中がひろがると思います。すっと乗れるようになったー詰まっている。全体にもう少し丁寧に読みたい。う行、少し舌を巻いています。う行、少し下を巻いています。間の取り方、スピードの緩急に工夫が見えます。ラスト一文、もう少し工夫がほしい。	セリフと地の文、もう少し整理しよう。緩急の差、ほしい。自然な読みになっています。